

とうじしゃめせん しょう ふくしじつげんせんげん しんきゅうたいしょうひょう
当事者目線の障がい福祉実現宣言 新旧対照表

しゅうせいご
修正後

とうじしゃめせん しょう ふくしじつげんせんげん
当事者目線の障がい福祉実現宣言
～あなたの心の声に耳を傾け、お互いの心が輝くことを目指します～

わたし たちは、津久井やまゆり園事件のような悲惨な事件を二度と起こさないために、
これまでの障がい福祉のあり方を根本的に見直し、「当事者目線の障がい福祉」に
大転換することを誓います。それは「あなたの心の声に耳を傾け、お互いの心が輝くこ
とを目指す障がい福祉」です。

私たちは「虐待」は絶対に認めません。強度の行動障がいの方に対して、周りの人や
自分を傷つけるから、音や光などに過敏に反応し過ぎるから、長時間、部屋に閉じ込めて
おく、車いすに縛り付けておく、安全安心のためにはやむをえないということで、これま
ではそんな支援が当たり前のように行なわれていました。

しかし、それは明らかに「虐待」です。時代
は大きく変わり、法律も変わりました。「虐待」の定義も変わりました。それにも関わら
ず、現場では同じような支援、すなわち「虐待」が続いていたのです。

それは県立施設においても例外ではありませんでした。県として、障がい者のみなさん
に対して、心からお詫びいたします。そんな支援を続けていた事業者は、みんな反省し、
支援のあり方を変えなければならないと私たちは思います。

「虐待」は絶対に許されることではありません。あなたは障がい者であるまえに、人間
です。人間だからこそ、一人の人間として尊重されるのは当然の権利です。

私たちは部屋に閉じ込められている当事者ご本人の目線に立って考えます。なぜ、あな
たは周りの人や自分を傷つけるような行動をしてしまうのでしょうか。もしかしたら、あな
たは自分の気持ちをうまく表せないだけかもしれません。自分の気持ちを聞いて欲しいと
訴えているに違いないと考えれば、全然違ったサポートができるはずです。

私たちはそんなあなたの心の声に一生懸命、耳を傾けます。あなたの思いを受け
止め、工夫をしながらサポートします。そうすればきっとあなたは安心してくれるに違
ない。それが私たちにとっても大きな喜びにつながります。それがお互いの心が輝
く障がい福祉です。

施設はあなたが地域の仲間たちとのつながりの中で暮らして
いけるよう、一緒に考え、みんなで支え、準備をする場です。一生そこで過ごしていただ
く場ではありません。あなたは自分の住む場所を自分で決めることができます。

しゅうせいまえ
修正前

とうじしゃめせん しょう ふくしじつげんせんげん
当事者目線の障がい福祉実現宣言
～あなたの心の声に耳を傾け、お互いの心が輝くことを目指します～

わたし たちは津久井やまゆり園事件のような悲惨な事件を二度と起こさないために、
これまでの障がい福祉のあり方を根本的に見直し、「当事者目線の障がい福祉」に
大転換することを誓います。それは「あなたの心の声に耳を傾け、お互いの心が輝くこ
とを目指す障がい福祉」です。

私たちは「虐待」は絶対に認めません。強度の行動障がいの方に対して、周りの人や
自分を傷つけるから、音や光などに過敏に反応し過ぎるから、長時間、部屋に閉じ込めて
おく、車いすに縛り付けておく。
これは
ではそんな支援が当たり前のように行なわれていました。

安全安心のためにやむを得ずということでしたが、それは明らかに「虐待」です。

これは

これは

「虐待」は絶対に許されることではありません。あなたは障がい者であるまえに、人間
です。人間だから人間らしい扱いを受ける
のは当然の権利です。

私たちは部屋に閉じ込められている当事者ご本人の目線に立って考えます。なぜ、あな
たは周りの人や自分を傷つけるような行動をしてしまうのでしょうか。

もしかしたら、あなたは自分の気持ちをうまく表せないだけかもしれません。自分の
気持ちを聞いて欲しいと訴えているに違いないと考えれば、全然違ったサポート
ができるはずです。

私たちはそんなあなたの心の声に全身全霊で、耳を傾けます。あなたの思いを受け止
め、工夫をしながらサポートします。そうすればきっとあなたは安心してくれるに違
ない。それが私たちにとっても大きな喜びにつながります。それがお互いの心が輝
く障がい福祉です。

施設は終の棲家ではありません。あなたが地域の仲間たちとのつながりの中で暮らして
いけるよう、一緒に考え、
準備をする場です。

しゅうせいご
修正後

かつて、まわりの人を傷つけるからという理由で、ずっと 部屋に閉じ込められていた人が、「当事者目線の支援」を受けることになったことで、生き生きと働けるようになっていました。

支援のあり方によって、こんなに変わるんだ。それは希望の光でした。こういう支援が広がっていけば、必ずや、「当事者目線の障がい福祉」は実現できるに違いないと、私たちは確信しました。

どんな障がいがあっても、支えあい、愛と思いやりにあふれ、みんなのいのちが輝く、「ともに生きる社会」を実現するべく全力を尽くすことを障がい当事者、福祉関係者、そしてすべての県民の皆様に誓います。

れいわ ねん がつ にち かながわけん ち じ ぐろいわゆうじ
令和3年11月16日 神奈川県知事 黒岩祐治

しゅうせいまえ
修正前

そんな支援を実践しているところが実際にあります。別の施設では部屋に閉じ込められていた人が、生き生きと働く姿は感動的です。そういった成功事例を多くの関係者が学び、実践して

いけば、必ずや、「当事者目線の障がい福祉」は実現できるはずです。

どんな障がいがあっても、支えあい、愛と思いやりにあふれ、みんなのいのちが輝く、「ともに生きる社会」を実現するべく全力を尽くすことを誓います。

れいわ ねん がつ にち かながわけん ち じ ぐろいわゆうじ
令和3年11月16日 神奈川県知事 黒岩祐治